

シグナルマークについて

シグナルマークは危険のレベルを表します。それぞれのマークの内容をよくご理解頂いた上で必ず記載の注意事項を守ってください。

- △警告 - 取扱いを誤った場合に、**死亡・重傷の危険が発生する可能性があります。**
- △注意 - 取扱いを誤った場合に、**軽傷を負うか、物的損害を負う危険が発生する可能性があります。**

積載物と積載物の制限について

- △注意 最大積載重量は60kgまでです。過積載は絶対に行わないでください。使用状況によっては60kg未満でもルーフの変形及び、ルーフキャリアが破損する場合があります。また過酷な使用、制限を超える積載を行うことにより60kg未満でも積載能力は変化し低下いたします。
- △注意 本製品は荷物用の積載ルーフキャリアです。次の物は積載しないでください。
[スキー板・ストック・スノーボード・サーフボード・自転車・コンテナ・ウィンドサーフィン・ポール・boom・ポート・カー・カヤック]
- △注意 下記の大きさを超える荷物は絶対に積載しないでください。
又積載物がルーフキャリアからはみ出す場合は、はみ出し量を前後均等ではみ出すようにしてください。

品番	1セット	2セットジョイント	3セットジョイント
SA-01・02H	(長さ) (幅) (高さ) 1545× 800×600	(長さ) (幅) (高さ) 2970× 800×600	(長さ) (幅) (高さ) 4395× 990×600
SA-03・04H	1545× 990×600	2970× 990×600	4395× 990×600
SA-05・06H	1845× 990×600	3570× 990×600	5295× 990×600
SA-05W	1845×1140×600	3570×1140×600	5295×1140×600

(単位=mm)



取扱い上の注意

- △警告 走行前には必ず、各締付け部にユルミが無いかを点検してください。
→締付け部にユルミがあると、**思わぬ脱落事故を起こします。**
- △警告 初期ユルミが発生しますので、**初回30キロ走行後には必ず各締付け部を増締めしてください。**
- △警告 ルーフキャリアの装着時は特に**法定速度を守り、急発進・急ブレーキ・急ハンドル等の過酷な避け、悪路では徐行してください。**
- △警告 走行中にルーフキャリアからガタツキ音等の異常音が聞こえた場合は速やかに停車しルーフキャリアの状態を確認してください。
- △注意 積載物をルーフキャリアに固定する際は、脚部、を利用してロープ等で固定しないでください。
→脚部に集中的に大きな負担がかかり、脚部のネジ取付け部に緩みが発生し破損及び脱落の原因になります。
- △注意 積載物の重量の配分はどちらか(左右)に片寄らないようにしてできるだけ均等に平坦に積載してください。
→積載物が片寄ってしまうと運転に支障が生じたり、ルーフキャリアにも変則的な力がかかり破損や脱落事故の原因になります。
- △注意 積載物をルーフキャリアから載せたり、降ろしたりする際はルーフキャリアに衝撃がかからないようにゆっくりと行ってください。
→強い衝撃[集中的荷重]がかかることによりルーフキャリアの破損及び脱落の原因になります。
- △注意 ルーフキャリアからはみ出す長尺物を積載した状態でバックドアを開けないでください
→バックドアのガラス面が当たり破損の原因になります。
- △注意 ルーフキャリア装着時にはラジオアンテナは伸ばさないでください。やむをえず伸ばす場合はルーフキャリアに当たらない所で留めるか、異音が出ないように処置を行ってください。
→アンテナがルーフキャリアに干渉し異音が発生します。
- △注意 ルーフキャリアの装着時及び荷物を積載している時は車両の地上高が高くなる為、駐車場・高架等の高さ制限のある場所を通過する場合には十分ご注意ください。

事故が起きたときは

製品の欠陥などにより万一事故が発生した時は速やかに販売店又は弊社までご連絡ください。

事故対応をスムーズに行うためにお客様には以下の事をお願いします。

- (1) 事故製品の確保・・・事故発生時のままの状態のもの(製品をバラしたりしない)
- (2) 損害の内容・・・損害を受けた現物、また損害を証明できるもの
- (3) 事故発生状況・・・日時、場所、事故発生状況、公共機関への届出(事故届、紛失届)
(いつ・どこで・何が・どのように)

お客様の誤った組立て、取付け、使用による事故等の責任は一切負いかねますのでご了承ください。

Rocky+ ロッキープラス株式会社

名古屋市守山区元郷2-107 TEL 052-778-7876 FAX 052-778-7718

http://www.rocky.ne.jp rocky@rocky.ne.jp

ROCKY ROOF CARRIER

SAシリーズ 取扱い説明書 ②

品番 / SA-01・02H・03・04H・05・05W・06H

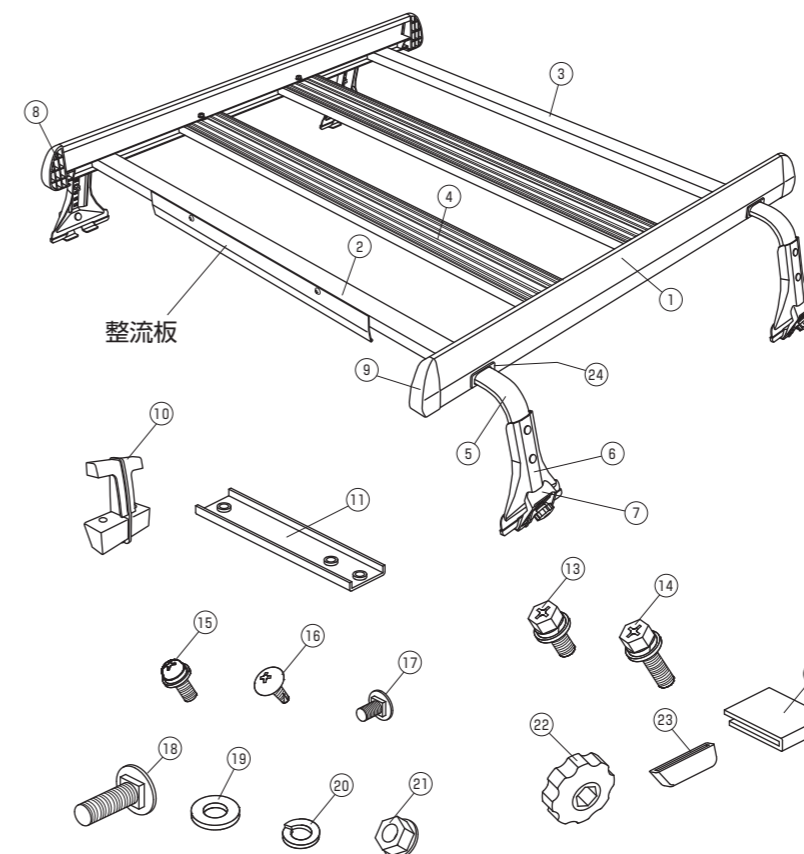
この度は、ロッキールーフキャリア「SAシリーズ」をお買い上げいただきありがとうございます。常に安全な状態でご使用して頂く為に「取扱い説明書」をよくお読みの上正しくご使用ください。製品(組立て・取付け等)についてご不明な点はお買い求めの販売店又は、弊社までお問い合わせください。誤った組立て、取付け、使用による事故の責任は一切負いかねますのでご了承ください。尚、販売店にて本製品を取付けられましたら本書を必ずお客様にお渡しください。

ご使用前に

- △警告 本製品の改造は絶対に行わないでください。
本製品の改造による事故責任は一切負いかねます。
「例」 部品類の穴あけ加工
市販品のアタッチメントを使用して荷物(スキー・自転車)等の積載
本製品以外の部品による組立て及び、部品交換
- △警告 部品不足での使用は絶対に行わないでください。
- △注意 ルーフキャリアを取付けた状態で洗車機にかけないでください。
ルーフキャリアに無理な力がかかり、ルーフの変形等の損傷を車に与えます。
- △注意 キャリアの塗装面にキズ等が付きましたらその部分からサビが発生することがありますのでタッチペン等で補修を行ってください。
- △注意 キャリアを保管する場合はきれいに清掃し防錆処理を行った上で湿気のない場所で保管してください。

構成パーツ

- 構成パーツは検査済みですが、組立てを行う前に必ず数量の確認を行ってください。



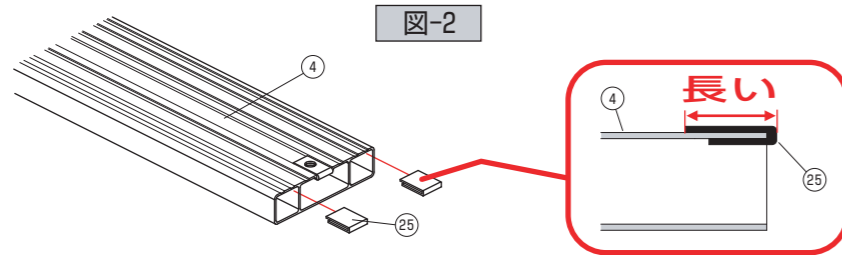
No	部品名称	SA 01・02H 03・04H	SA 05・05W 06H
①	サイドフレーム	2	2
②	脚フレーム(整流板付)	1	1
③	脚フレーム	1	1
④	デッキフレーム	2	3
⑤	脚ステー	4	4
⑥	インナーランプ	4	4
⑦	アウターランプ(片側付)	4	4
⑧	先端キャップ(R)	2	2
⑨	先端キャップ(L)	2	2
⑩	中間ジョイント	2	2
⑪	プレートナット (②③脚フレームに組付け)	4	4
⑫	クリップナット (③デッキフレームに組付け)	4	6
⑬	④六角ボルトセットM6(短)	8	10
⑭	④六角ボルトセットM6(長) (②③脚フレームに組付け)	8	8
⑮	④丸ネジセットM6	4	4
⑯	④タッピングビス5ミリ	4	4
⑰	角根ボルトM6	8	8
⑱	角根ボルトM8	4	4
⑲	平座金M8	8	8
⑳	バネ座金M8	4	4
㉑	フランジナットM6	8	8
㉒	締付ノブ	4	4
㉓	インナー保護キャップ	8	8
㉔	脚キャップフレームに組付け	4	4
㉕	ゴムパッキン	8	12

組立て方法

- 1 ⑥インナークランプの下端に⑳インナー保護キャップをはめます。
⑤脚ステーと⑥インナークランプを車のルーフの高さに合わせて
⑰角根ボルトM6、⑱フランジナットM6にて締付けます。〔図-1〕

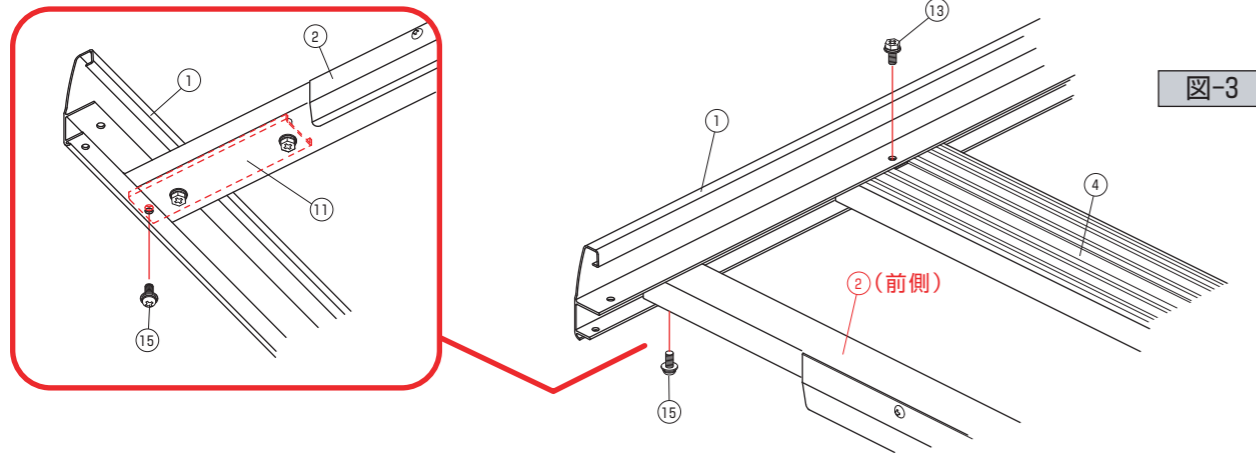
△注意 ⑱フランジナットの締め過ぎによる⑰角根ボルトの破損の恐れがある為、締め付けには十分注意してください。

- 2 ④デッキフレームの両端上面に㉕ゴムパッキンをはめます。
この時、㉕ゴムパッキンのベラが長い方を上にしてください。〔図-2〕

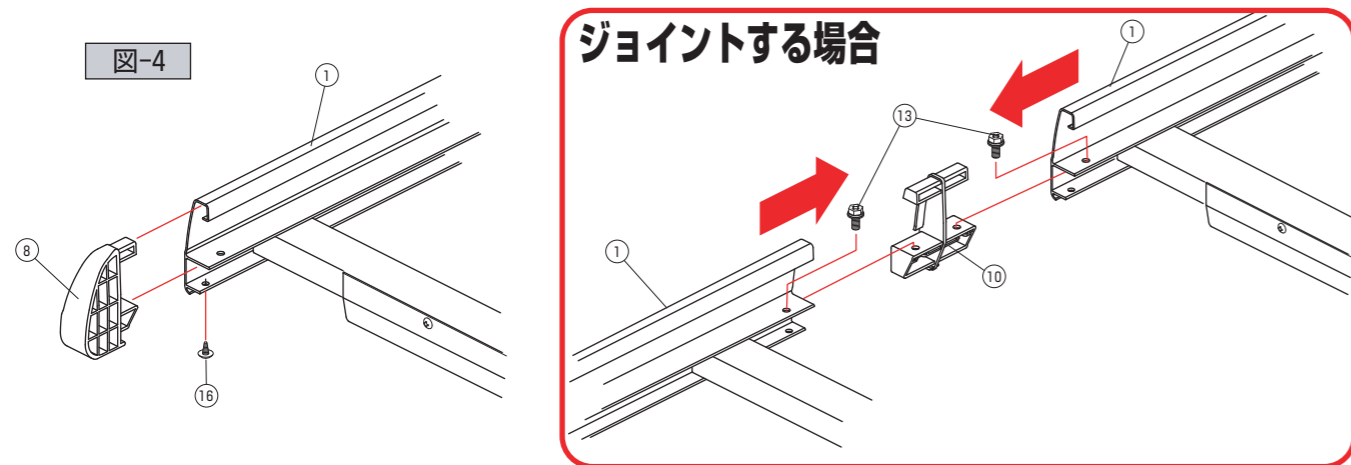


- 3 初めに①サイドフレームの片側に②③脚フレームと④デッキフレームをまっすぐに差込み、②③脚フレームは裏から⑮⊕丸ネジセットM6で締付け④デッキフレームは⑬⊕六角ボルトセットM6(短)にて締付けます。
締め付後、反対側の①サイドフレームを被せるような感じで差込み、同様に⑬⑮のボルトでしっかりと締付けます。〔図-3〕

△注意 ・②脚フレーム(整流板付)がキャリアの前側になります。
・④デッキフレームに組付けた㉕ゴムパッキンは異音防止効果がある為、必ず取付けた状態で①サイドフレームに差込んでください。硬くて差込み難い場合は㉕ゴムパッキンと①サイドフレームに中性洗剤を塗ると差込みやすくなります。



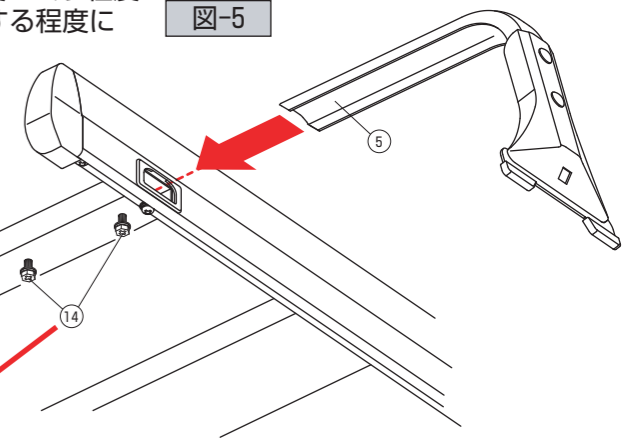
- 4 ①サイドフレームの先端に⑧⑨先端キャップを差込み⑯⊕タッピングビス5ミリでしっかりと固定します。〔図-4〕
※2~3セットのジョイントする場合は後側の①サイドフレームの先端は⑩中間ジョイントに差し替え
⑬⊕六角ボルトセットM6でしっかりと組付けます。〔ジョイントする場合〕



- 5 ②③脚フレームに組付けてある⑭⊕六角ボルトセットM6(長)を一度10ミリ程度ゆるめ、「1」で組立てた脚セットを差込み、⑤脚ステーがスライドする程度に仮締めします。〔図-5〕

△注意 車両にルーフキャリアを取付ける際に幅調整を行う為、必ずこの段階では⑤脚ステーがスライドする程度の仮締めにしてください。

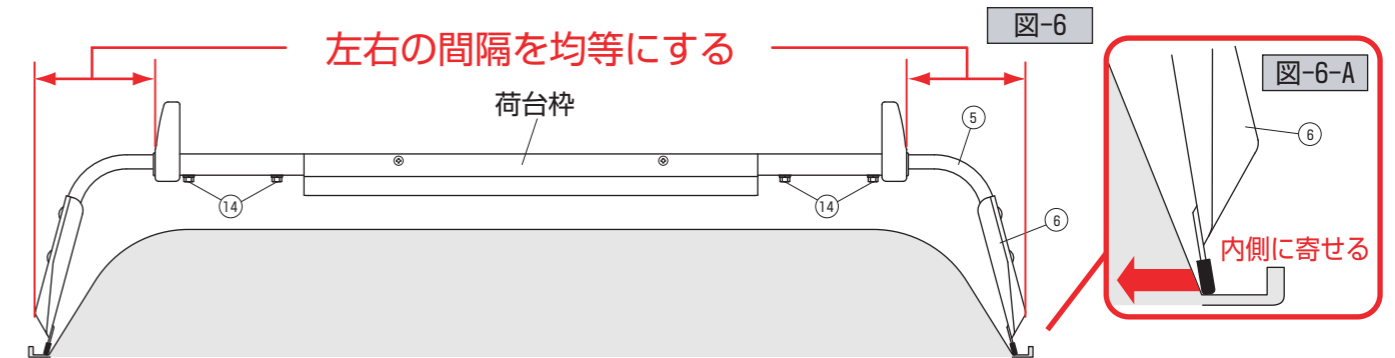
一度ゆるめる



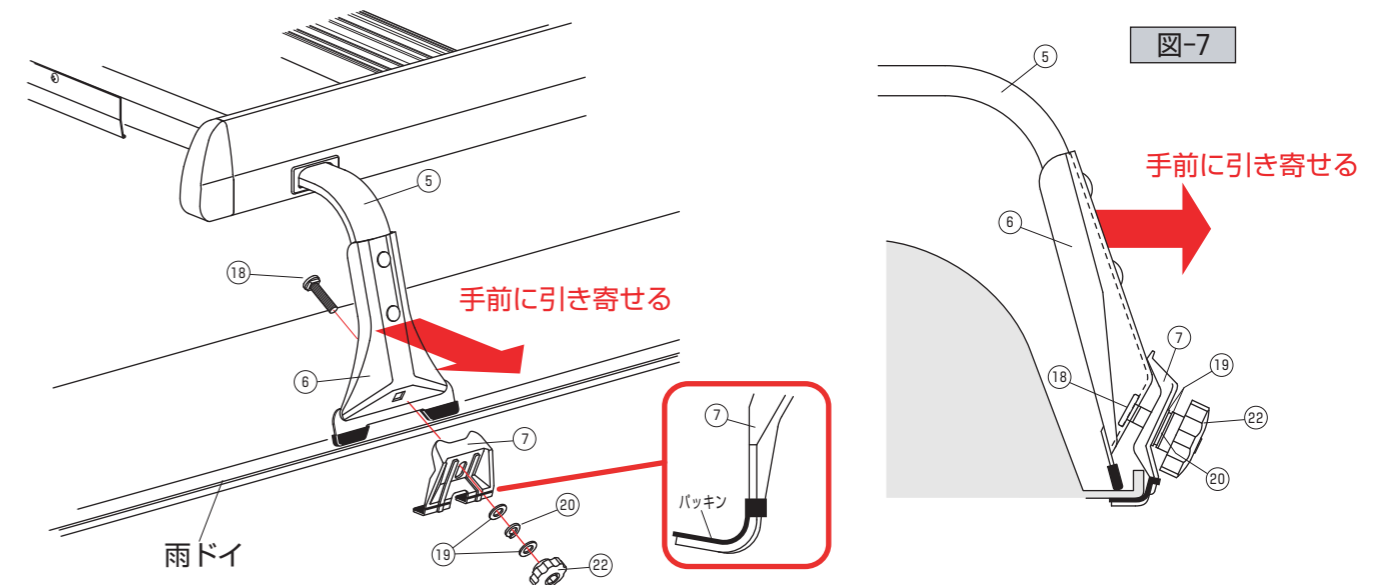
取付け方法

△注意 ルーフキャリアの取付け時は必ず2人以上で行ってください。ルーフのキズやヘコミ、ルーフキャリアの破損の防止になります。

- 1 先程組立てたルーフキャリアをルーフの雨ドイに載せます。
荷台枠と⑤脚ステーの左右の間隔が均等になるように幅の調整を行います。〔図-6〕
この時⑥インナークランプを雨ドイの内側に(ルーフ側)に寄せた状態にしておきます。〔図-6-A〕
間隔を調整後、⑭⊕六角ボルトM6をしっかりと締付けます。



- 2 ⑥インナークランプの角穴の裏から⑱角根ボルトM8を通し、⑦アウトークランプ(パッキン付)を雨ドイにかませ、⑰平座金M8、⑲バネ座金M8、⑲平座金M8、㉑締付ノブの順でしっかりと締付けます。
締め付けの際は⑥インナークランプを手前に引き寄せるような感じで締め付けを行ってください。
手前に引き寄せることによって⑤脚ステーに「ハリ」がでるルーフキャリアの強度が増します。〔図-7〕



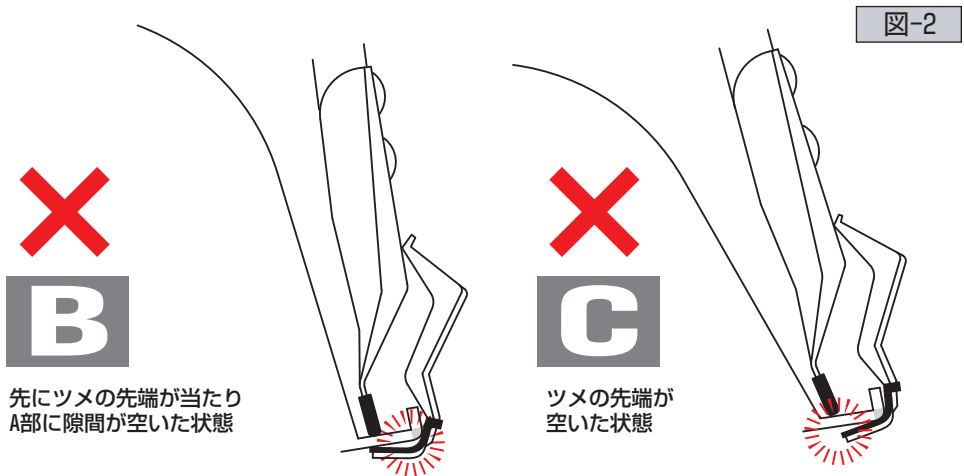
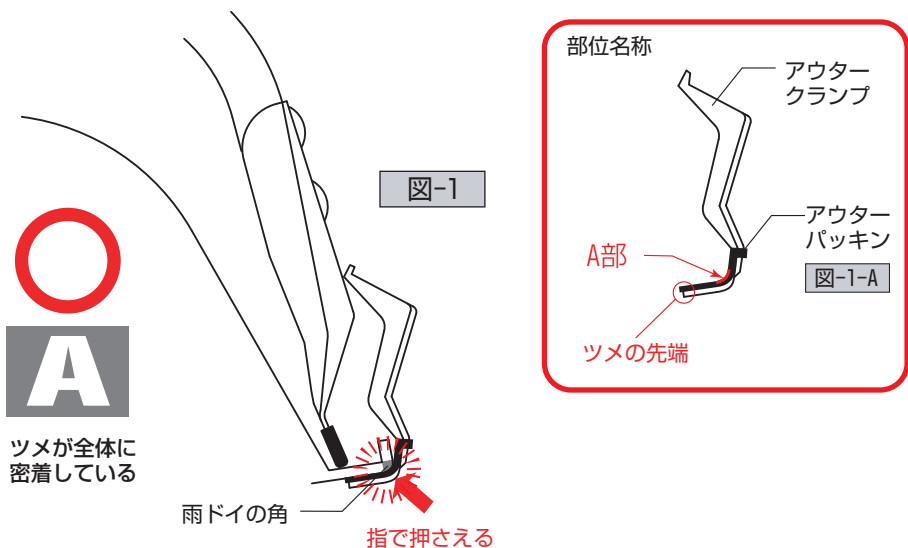
- 3 取付け終了後、ルーフキャリアを前後左右に揺すりガタツキが無いことを確認してください。
ガタツキがある場合は再度取付けをやり直してください。

△注意 取付け初期段階はユルミが発生しますので必ず増し締めを行い、走行前には必ず各締め付け部にユルミがないか点検してください。

SAシリーズ補足取説

車種により雨ドイの角度が異なり、アウタークランプのツメの角度(雨ドイ合せ部)が若干合わない場合があります。その際は次の要領にてアウタークランプのツメの角度の調整を行ってください。

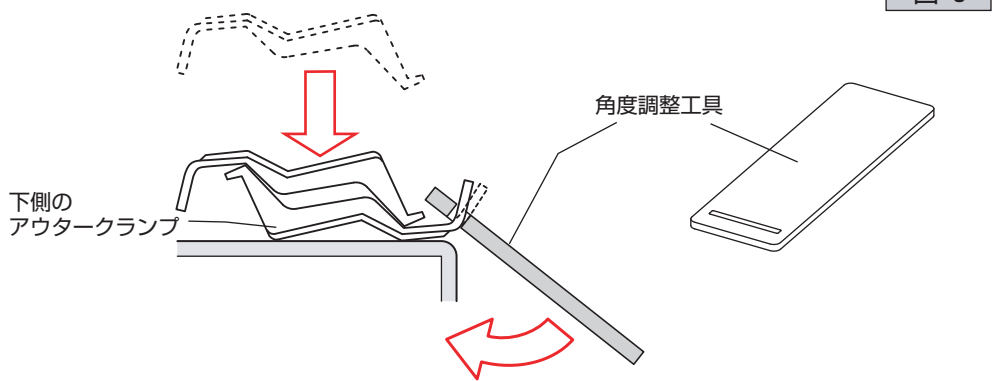
1. 「取扱い説明書/取付け方法2」でアウタークランプを雨ドイに当て合した際に、雨ドイの角にアウタークランプ下端(A部)とツメの先端が指で軽く押さえた状態で密着していればそのまま使用できます。〔図-1〕
合せが極端に[B]や[C]図のような状態の場合は付属の「角度調整工具」でツメの角度を調整してください。〔図-2〕



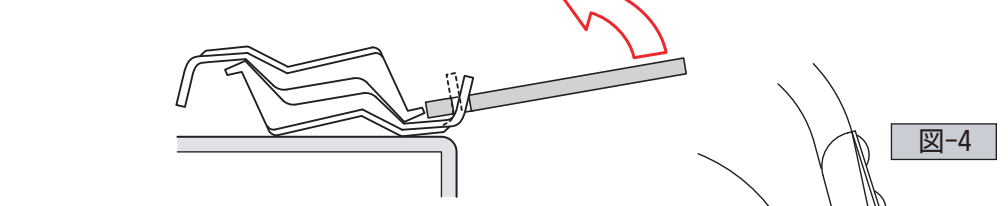
△注意 角度調整を行う際は必ずスベリ止め軍手を使用し十分に気をつけてください。

2. 予めアウタークランプにセットしてあるアウターパッキンを外します。〔図-1-A〕
図のようにアウタークランプを重ね合わせ、下側のアウタークランプが動かないように上から押さえながら、下側のアウタークランプのツメに角度調整工具を差込み角度調整を行います。

B の状態の場合
ツメの角度が広がるようにできるだけツメの根元の方に工具をかませテコの要領で「下」にゆっくりと下げます。
△注意 [B][C]共に曲げ過ぎないように慎重に行ってください。



C の状態の場合
ツメの角度が狭まるようにできるだけツメの根元の方に工具をかませテコの要領で「上」にゆっくりと上げます。



3. 角度調整を行ったら、もう一度アウタークランプを雨ドイに合わせ、状態を確認します。角度調整が正常に行われていたら取り外したアウターパッキンを組み戻して「取扱い説明書/取付け方法2」の要領に従って締付けを行ってください。締付けの際はアウタークランプの外側を指で軽く押さえながら締付けを行ってください。〔図-4〕

